

常時接続の世界で、 孤独を問う

2026
SAT
10.10

13:00 – 17:00

— スマホ時代の哲学 —

参加無料（要事前申込）

場所 ヒューリックホール京都 / Zoomウェビナー（ハイブリッド開催）

スマホでいつもつながる中高生は、
なぜ孤独を感じるのか

検索すれば0.5秒で答えが見つかる時代。その手軽な納得は、本当の思考を止めてはいないでしょうか。本シンポジウムでは、気鋭の哲学者・谷川嘉浩氏を迎え、スマホ時代の「知のあり方」を考えます。寂しさを埋めるスクロールを止め、あえて「問い」に立ち戻る——タイパ（効率）重視の現代で、哲学という「遠回り」を選ぶ価値を、世代を超えて語り合います。

参加申込はこちら ▶



申込締切：2026年9月20日（日）
<https://forms.gle/Cp8H6SZNasWzq46x6>

プログラム

司会：井関 祥子・鹿野 豊

13:00–13:05 開会挨拶 山極 寿一
地球研 所長、ウッドデッキ 理事

14:00–14:30 話題提供 井上・大澤・しんめいP
各10分

13:05–13:15 趣旨説明 渡辺 美代子
ウッドデッキ 代表理事

14:45–16:25 パネル討論 100分
会場との議論含む

13:15–14:00 基調講演 「スマホ時代の哲学」谷川 嘉浩
哲学者・京都市立芸術大学 講師

16:25–16:30 閉会挨拶 村上 泰教
客員准教授・僧侶

基調講演 13:15–14:00（45分）



「スマホ時代の哲学」

谷川 嘉浩 哲学者
京都市立芸術大学 講師



1990年生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科 博士後期課程修了。博士（人間・環境学）。哲学・宗教学を軸に、SNS時代の孤独や趣味、消費社会を横断的に論じる。著書『スマホ時代の哲学 —「常時接続の世界」で失われた孤独をめぐる冒険』は累計9万部のベストセラー。

会場アクセス



阪急は木屋町北出入口、京阪は4番出口が便利

パネル討論 14:45–16:25（100分・会場との議論含む）

ファシリテーター



吉川 成美

総合地球環境学研究所
上廣環境日本学センター長
特任教授

話題提供 パネル



井上 岳一

日本総合研究所
創発戦略センター
チーフスペシャリスト

話題提供 パネル



大澤 正彦

日本大学
准教授

話題提供 パネル



しんめいP

作家
『自分とか、ないから。』著者

パネル



山極 寿一

総合地球環境学研究所 所長
ウッドデッキ 理事

パネル



モンテ・カセム

国際教養大学
理事長 学長

パネル



秋山 咲恵

（株）サキコーポレーション
ファウンダー

NPO法人ウッドデッキとは 「世代を超え、地域を超え、経験を超えて」——若い科学者が多様な世代の研究者や市民と語り合い、幸せな未来への道筋をつくる“対話の場”を提供するNPO。（代表理事：渡辺 美代子）

上廣環境日本学センターとは 総合地球環境学研究所（地球研）に設置された研究拠点。日本の自然観・環境観を人文知から掘り起こし、地球環境問題に応える「環境日本学」の構築をめざす。

主催 NPO法人ウッドデッキ、総合地球環境学研究所 上廣環境日本学センター



後援 京都府教育委員会（予）・京都市教育委員会・京都新聞